

日本学術会議化学委員会（第25期・第3回）議事要旨

日時： 令和3年3月25日（木） 9:30-10:35

場所： ウェブ会議

出席者： 相田美砂子，岡本裕巳，北川尚美，君塚信夫，関根千津，菅原洋子，菅 裕明，
玉田 薫，所 千晴，茶谷直人，西原 寛

1. 分子研所長招聘会議について

- ・6月8日（火）に，以下のようなプログラムで実施する（案）

13:20-13:40	日本学術会議化学委員会説明、趣旨説明	茶谷
13:40-14:15	奥野 真（文科省科学技術・学術政策局人材政策課長）司会：君塚 「博士課程学生への支援の充実について」	
14:15-14:50	西村 君平（東北大学理学研究科理学教育研究支援センター）司会：茶谷 「化学分野における博士課程修了者の就職実績の内実」	
15:00-15:35	辻村 達哉（共同通信社編集委員室）司会：菅 「私の見た博士人材」	
15:35-16:10	大田 一男（コンフレックス（株）代表取締役）司会：関根 「博士が起業するという事ー複合的な研究への取り組みを経て」	
16:10-17:00	総合討論	司会：北川

- ・各講師にお話し頂く内容を確認した。
- ・タイトルは「広がる化学系博士人材の未来」を第一候補とする。
- ・シンポジウムに関する詳細議論を行った。若手の博士人材が抱える課題については、総合討論でテーマとして意見交換の時間を確保できるようにすることとした。

2. 来年度の活動方針等

- ・4月の総会での学術会議改革議論も見ながら決めていく。
- ・地方大学の活性化についても取り上げていく。
- ・次回（以降）の分子研所長招聘会議の話題として，資源転換(アンモニア燃焼)，カーボンニュートラル等について，化学の視点からの議論を行ってはどうかとの意見があった。

3. その他

なし

以上

岡本、関根 記